

比較民俗学会・愛知大学国際コミュニケーション学会共催

愛知大学教育研究支援財団協賛

学術交流プログラム（フォークロア）

令和8年度 比較民俗学会大会

2026年10月3日（土）13:30～17:00

10月4日（日）10:00～15:00

会場：愛知大学名古屋キャンパス（ささしまライブ）W31教室（厚生棟3F）
＋ オンライン（Zoom） 事前申し込み制（申し込み期限：9月25日）



10月3日（土）共同討議：東アジアの民俗学を振り返る
開会挨拶

第一部 東アジアの比較民俗学（13:30～15:00）司会：斧原孝守

繁原央（常葉大学名誉教授）

「創設時の比較民俗学会」

任章赫（韓国 中央大学名誉教授）

「韓国の比較民俗学会について」

何 彬（東京都立大学名誉教授）

「現代中国の比較民俗研究について」

第二部 比較民俗学を求めて（15:30～17:00）司会：繁原央

馬場英子（新潟大学名誉教授）

「村松一弥先生の（お）仕事」

金廣植（韓国 忠南大学校研究教授）

「孫晋泰から読む比較民俗学」

斧原孝守（比較民俗学会事務局）

「小島瓊禮先生の比較説話学」

懇親会（参加費：4500円程度／場所：ささしまグローバル・ゲート内を予定）
なお、共同討議後、懇親会の前に、理事会を開催します。

10月4日（日）個別発表

午前の部（10:00～12:00）

鍋田尚子（神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員）

「昔話からみたベトナムの竈神 ー日本・中国の竈神の昔話との比較からー」

川谷真（本会会員）「オルメカ巨石人頭像：首長の像か、「切られた首か」」

繁原幸子（焼津市文化財保護審議会委員）「富士宮浅間大社の田舞いと大嘗祭の関連」

午後の部（13:00～15:00）

張小月（本会会員）「漢服の民俗化をめぐる諸課題ー古代的文脈に限定される服飾体系」

清水伸子（愛知大学准教授）「ロシア版画ルボーク」

繁原央（常葉大学名誉教授）「斑竹姑娘譚騒動をふりかえる」

【問い合わせ・参加申し込み先】 E-mail: nobukos@vega.aichi-u.ac.jp

オンライン聴講を希望される方は、9月25日までに、
メールをお送りください（右上QRコードからも申込み可能）。

メールの件名には、「比較民俗学会大会」と書き、

メール本文には、御名前とメールアドレスをお書きください。

後日、アドレス宛にZoomミーティング情報をお送りします。



愛知大学
AICHI UNIVERSITY